

児童も教師も 本気で遊ぼう 毎日楽しい休み時間を

新潟県立新潟聾学校 小学部

全校児童数	11名(男子5名 女子6名)		
全クラス数	6	教職員数	13名(内体育専科0名)
クラブ活動・運動部活動数	1	参加延べ人数	6人
地域のスポーツ指導者の活用(年間延べ人数)		5人	

取組時の課題と目的

1 取組時の課題

当校の児童は、人工内耳装用児が大半を占めています。頭部への衝撃が加わることにより、場合によっては再手術となることもあるため、日頃から配慮しています。そういった事情から運動の種類や使用器具を制限してきました。そのため、小学部の児童が経験してきた運動は圧倒的に少なく、知らないスポーツ競技が多くありました。

2 取組の目的

- ① 休み時間にいろいろな運動の経験をさせることで、多様な動きを経験できるようにする。
- ② 運動が苦手な児童も、短い時間の中で体力の向上を図り、運動を楽しめるようにする。
- ③ 教員も一緒に運動に参加して、動き方の模範を見せることで児童は多様な動きを習得することができるようにする。また、教員が活動のサポートをすることで、児童のけがを防止することができるようにする。

取組の内容（右ページも参照）

1 週2回の朝体育の実施

朝8時30分から45分までの間、体育館で週に2回朝体育の時間を設定しています。主に時間走をします。低学年は内周6分間走、中・高学年は外周8分間走をします。設定時間内に何周走ることができるか目標を設定し、それに向けて毎回記録をしていきます。毎年10月にマラソン記録会があり、それに向けて練習する時期は、低学年が内周30周を走りきり、高学年は外周12分間走をしています。

2 2校時と3校時の間の15分休みの活動

週ごとに『ボールゲーム』か『おに遊び』をすることにしています。『ボールゲーム』では、ソフトバレーボールを使ったドッジボールやゴムボールを使ったキャッチボール等、また『おに遊び』では、増えおに、助けおに等をしています。冬場にはなわ跳びや大なわ跳びもしています。

教員は曜日ごとに当番が決めてあり、また、時間の都合がつく教員も出て、教員も含めた大人数で活動するようにしています。15分休みは、ほとんどの児童が集まることもあります。そのときは低学年や運動の苦手な児童の実態に合わせて①全員でできること、②休み時間の中で終わること、の2つの条件をクリアできる増えおにをやることにしています。

3 昼休みの活動

昼休みは、主に高学年が活動をしています。ソフトバレーボールを使って本気でドッジボールをしたり、中学部の生徒が入って、一緒にドッジボールやキャッチボールをしたりしています。そこにも当番の教員が入り、チーム編成のバランスをとったり、公平なゲームができるように審判をしたりしながら、児童にけががないように支援しています。

●工夫したこと

- ① 何事も経験不足であるために、まずはけががないようにすることを第一に考え、ルールは児童の実態に合わせて遊ぶようにしました。
- ② 教員と一緒に活動をして動き方の模範を見せることで、児童の多様な動き方の獲得を図りました。また、教員と児童と一緒に遊ぶことで、運動を楽しむことも感じられるようになるのではないかといいねらいもありました。

取組の成果

- ① 硬いボールへの恐怖心の対策として、ボールはやわらかいボールを使うことや、頭から転ぶことの危険性から、おに遊びの中でも相手を強く押ししたり、引っ張ったり、抱きついたりしない等、約束を決めたことで、みんな安心して運動を楽しんでいます。
- ② 教員と一緒に遊ぶことによって、おに遊びでは左右の切り返しやフェイントなど、工夫しておにから逃げる動きをするようになりました。また、教員と一緒に遊ぶ楽しさや、教員に勝ちたい気持ちが出てきたことで、どの児童も休み時間になると急いで体育館に向かうようになりました。また、遊ぶ中で運動が苦手な児童をかばったり助けたりする様子も見られます。

今後の課題

- ① これまでは思い切り投げる、蹴る、走るといった全力で行う運動が中心だったので、今度は、力を調整して行う運動を取り入れていきたいと考えています。毎年、外部から講師を招いてスポーツ教室を行っており、今年はボッチャをすることになっています。
- ② これまでいろいろな運動の制限をしてきたこともあり、柔軟性や筋力、多様な体の動きの面で物足りなさを感じています。その部分を身に付けていくために体づくり運動を取り入れていきたいと考えています。

取組の3本柱

①体力の向上に向けた主な取組

朝体育（週2回実施）



時間走
(低学年6分、中・高学年8分)

歩き遠足 (学校～新潟空港)



往路 3.2kmを歩く

マラソン記録会



高学年(4～6年生) 2400m
低学年(1,2年生) 1200m

特別支援
学校

②多様な動きの経験と獲得に向けた主な取組

15分休みの活動



小学部全体での遊び
※上の画像は増えおに

昼休みの活動



教師や中学部の生徒も
参加して遊ぶ

スポーツ教室



外部から指導者を招いて
ポツチャの講習会

③運動を楽しむための主な取組

教師も遊びに参加



児童と一緒に遊びを楽しむ

親子スポーツ教室



児童と保護者が一緒に
スポーツを楽しむ行事

クラブ活動(高学年のみ)



教師と一緒に様々な
スポーツを体験